

# 平成 29 年度 学校教育目標等

教育局	石狩	学 校	北海道札幌国際情報高等学校	課 程	全日制課程
-----	----	-----	---------------	-----	-------

## 学 校 教 育 目 標

世界の人々から尊敬されるグローバルシチズンとしての日本人の育成

グローバルシチズンとして備える態度・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と共生しようとする態度</li> <li>・主体的に学び、考え、判断しようとする態度及びその能力</li> <li>・発信・議論しようとする態度及びその能力</li> </ul>
----------------------	---

### 1 重 点 目 標

授業改善を通じた「グローバルシチズンとして備えるべき態度・能力」の育成

### 2 経 営 方 針

- (1) 学科集合型高校の多様性を活かしながら、全ての教育活動を通して「グローバルシチズンとして備えるべき態度・能力」の育成に配意した指導の充実に努める。
- (2) 他を尊重する態度を養うとともに、政治的教養を高める教育に努める。
- (3) 「対話による理解」と「議論による創造」を重んじる民主的な職場づくりに努める。
- (4) 全ての教職員は、法令規則を遵守するとともに、校内外に対して説明責任を果たすように努める。
- (5) 「チーム学校」としての組織力を高めるため、分掌内において積極的な業務分担を心がけるとともに、教職員は時間外勤務縮減に向けた意識改革に努める。

### 3 教育課程編成の方針

- (1) 生徒の多様な個性の伸張を図るために、各学科の特色ある教育と複合的教育を具現化する教育課程の編成・実施・評価を行い、生徒の学力の一層の向上に努める。
- (2) 学校と学科の年間行事の見直しと精選に取り組み、授業時数を確保するとともに、生徒の実態に適切に対応し、中長期的な展望に立った教育課程の編成に努める。
- (3) 思考力・判断力・表現力等の育成の観点から教科シラバスの見直しを図り、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等の育成に重点を置いた授業改善の取組を全教員で進める。
- (4) 生徒のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の一層の向上を図るため、創意ある特別活動や特色ある学科行事の企画・運営・実施を図る。

### 4 指導上の重点事項

学習指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習習慣の確立と主体的に学習に取り組む意欲・態度の育成（自立した学習者の育成）</li> <li>② 基礎・基本の定着と生徒が主体的・協働的に学ぶ授業内容や指導方法の工夫・改善（アクティブ・ラーニング、言語活動の充実）</li> <li>③ シラバスの活用と改善（授業アンケート、評価方法等）</li> </ol>
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 思いやりの心やコミュニケーション能力を育む指導の推進</li> <li>② 挨拶や身だしなみ、マナー等、基本的生活習慣の確立と礼節指導の徹底</li> <li>③ ネット・スマホ使用におけるモラル指導、貴重品の自己管理の徹底</li> <li>④ 自転車通学生や下宿生への指導の充実、校外指導の適切な実施、関係機関との連携</li> </ol>
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 3年間を見とおしたキャリア教育の実践</li> <li>② 学年・学科（教科）・分掌の連携及び教育活動全体のバランスを考慮した進路指導体制の確立と個に応じた生徒一人一人の進路希望の実現</li> <li>③ 各種資料の効果的な活用の推進</li> <li>④ 進路シラバスの改善・充実</li> </ol>
健康・安全指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康安全意識の高揚（事故の未然防止、病気予防に関する意識）</li> <li>② SCと連携した組織的な教育相談の推進と関係機関等との積極的な連携</li> <li>③ 危機管理対応マニュアル（含いじめ予防）の整備と危機管理体制の確認・点検</li> <li>④ 校舎内外の環境美化と潤いのある教育環境づくり</li> </ol>